

## 大学運営会議議事録

開催日 及び場所	令和5年4月13日(木) 午後2時00分から午後3時08分まで 特別会議室 Web (ZOOM) 会議同時実施
出欠状況	出席:33名 欠席:2名
1 報告事項	(1)学長補佐の指名について (2)令和5年度 開学記念行事 ① 静岡県立大学 ② 静岡県立大学短期大学部 (3)令和5年 第108回薬剤師国家試験合格者の状況について (4)令和5年 管理栄養士国家試験合格者の状況について (5)令和5年 保健師・助産師・看護師・歯科衛生士・介護福祉士国家試験合格者状況について (6)THE 日本大学ランキング(旧 THE 世界大学ランキング日本版)2023の結果について (7)令和5年度 広報戦略について (8)SDGs イニシアティブ推進委員会 令和4年度活動報告・令和5年度活動計画 (9)令和5年度 当初予算について (10)公的研究費等不正防止計画(令和4年度取組実績及び令和5年度取組計画)について (11)令和4年度 CSIRT 活動報告等について (12)令和5年度 静岡県立大学大規模修繕工事予定について (13)草薙キャンパスにおける全学停電の実施について (14)令和5年度 自家用電気工作物点検実施に伴う全学システム停止 (15)令和4年度 短期大学部健康管理区分判定結果 (16)令和5年 第69回臨床検査技師国家試験合格者の状況について

- ・静岡県立大学大学運営会議構成員の紹介

令和5年度 大学運営会議構成員について、議長から紹介された。

- ・前回議事録(案)の確認

令和5年3月の大学運営会議議事録(案)について、案のとおり承認された。

### 1 報告事項

- (1) 学長補佐の指名について (説明者: 尾池学長)

資料に記載のとおり、学長補佐7名を指名したので報告した。

- (2) 令和5年度 開学記念行事

- ① 静岡県立大学 (説明者: 小林副学長兼学生部長)

本年度の開学記念行事を、4月20日の開学記念日に実施する。

午前中は新入生歓迎委員会が主催する運動会を実施し、体育館で約60人程度が参加する予定である。運動会はコロナの影響もあり、3年振りの開催となる。

午後は開学記念行事シンポジウム(本年度のテーマ「学生の声を大学に届けよう—コロナ禍

から未来へー」)を開催する。コロナ禍では活動指針に基づいて大学側が主体で動いてきたが、今後は学生の声を届けたいという意見もあり、学生が主体的に動いている委員会やクラブサークルをまとめる自治会組織を創ろうと一部の有志が動いている。その有志からの提言をもとにディスカッションする予定である。

コロナ禍以前は第3部として、学生教職員の親睦会「はばたきの集い」があったが、今年度もコロナの終息には至っていないと判断し、中止とした。

② 静岡県立大学短期大学部 (説明者：林短期大学部学生部長)

短期大学部も4月20日に開学記念行事を行い、新入生歓迎スポーツ大会を開催する。

今年度も学生会を中心としてスポーツ大会を企画しており、ドッジボールや障害物競走などを実施していく予定でいる。

(3) 令和5年 第108回薬剤師国家試験合格者の状況について (説明者：石川薬学部長)

薬剤師国家試験の合格率は記載のとおり。

本学に関して、6年生新卒では95%以上の高い合格率となった。国公立大学中の順位が4位、全体での順位は7位という結果となった。

(4) 令和5年 管理栄養士国家試験合格者の状況について (説明者：伊吹食品栄養科学部長)

管理栄養士養成課程の新卒受験者合格率は87.2%であり、本学部においては合格率95.6%という結果で、高い合格率を維持することができた。平成29年から7年連続合格率100%を達成することはできなかった。

近年の管理栄養士養成課程の新卒者の全国平均合格率は92%前後に維持されていたが、今回その合格率が87%となり、全体的に問題の難易度が高かったと推測される。これは、次年度から管理栄養士試験の出題基準が変更されるということが、影響したのではないかと評価されている。

不合格の学生に関しては、本学部の教員が個人指導なども行ったが、合格には至らなかった。

学部としては、今後も高い合格率を維持できるよう努めていく。

(5) 令和5年 保健師・助産師・看護師・歯科衛生士・介護福祉士国家試験合格者状況について

(説明者：山下看護学部長・林短期大学部学生部長)

保健師、助産師、看護師の合格率は記載のとおり。

保健師と助産師は全国の合格率をいずれも下回った。保健師について、現在看護学部の保健師課程は現3年生までは全員選択制となっており、令和5年国家試験では95名の学生が看護師と保健師のダブル受験をしたが、看護師資格を有していない限り、保健師資格だけでは就職することができないため、看護師国家試験勉強を優先して指導する必要があるという背景がある。従来も保健師課程を選択する多くの学生は看護師として就職するため、保健師の国家試験勉強に対しての意欲は低下した可能性がある。それに伴い、令和4年度の入学生カリキュラムからは60名の選抜制で取り組んでいる。今後は国家試験前の補講強化などを検討していく。

次に、助産師については、例年新卒者の合格率は100%であったが、母数が少ないことから合格率に影響したと考える。今後は、いずれの学生にも国家試験勉強に集中できる時間を確保できるよう対応していく。

(山下看護学部長)

歯科衛生士国家試験については、7年連続で合格率100%を達成し、介護福祉士国家試験については、4年連続で合格率100%を達成した。(林短期大学部学生部長)

(6) THE 日本大学ランキング(旧 THE 世界大学ランキング日本版)2023 の結果について

(説明者：大久保広報委員長)

THE の日本大学ランキングについて271校がエントリーしており、本学の総合ランキングについては記載のとおり。

本ランキングは日本版と世界版があり、日本版は教育リソースのウエイトが若干高めに設定されているという特徴がある。

教育リソースと教育充実度に関して、近隣大学と比較すると本学が高いスコアを得ている。

(7) 令和5年度 広報戦略について(説明者：大久保広報委員長)

本年度の広報戦略について、令和5年5月からの新型コロナウイルス感染症に関する規制緩和が決定したため、行動制限が緩和されることを見込み、本学の本年度の広報戦略は、対面及びウェブ等を活用した双方向の広報を推進していくこととなった。

具体的には、「学生広報大使」による様々な場面での情報発信、本学教員の研究内容の紹介動画の作成などを行うとともに、本学の魅力を情報発信できる体制を維持していく。

また、引き続き各部局の御協力をいただき、産学連携活動、研究成果、地域貢献活動などについても積極的に情報発信を行っていく。

(8) SDGs イニシアティブ推進委員会 令和4年度活動報告・令和5年度活動計画

(説明者：谷学長補佐)

令和4年度の活動実績について、高等学校連携に関しては本学と協定を結んでいる静岡東高校及び富士東高校へ教員と学生を派遣した。派遣人数は教員が延べ24人、学生が延べ106人の実績となった。アンケート結果は記載のとおり。

広報としてはSDGsのホームページの充実やSDGsの取り組みを紹介するパネルの更新を行った。

続いて教育では、全学共通科目「SDGs概論」を開講した。履修上限人数は150名としていたが、それを超える応募があった。学部教員がオムニバス方式で、17目標に関する講義を行った。

学生団体支援及び全学的な活動推進内容、地域貢献については記載のとおり。

全学的な活動推進として、コロナ感染症が落ち着いてきたということで、現地見学会を4回開催した。「小山町でのカーボンニュートラルに関わる施設見学」や「世界農業遺産の静岡水わさびの伝統栽培」、「茶草場農法」などを見学した。今回は職員に関しても、研修という形で参加できるようになった。

令和5年度の活動計画について、基本的には令和4年度と同様の形で進めていく。

特にSDGsに関するホームページの充実について、積極的に取り組んでいく。また、学生団体の支援に関しては、SDGsに関するサークルなどの学生活動を支援し、推進していく。全学的な活動の推進に関しては、現地見学会今年度も4回以上を予定している。

SDGs イニシアティブ推進委員会、運営委員会の構成員は名簿のとおり。

(9) 令和5年度 当初予算について（説明者：市川経営戦略部長）

本件は3月29日の経営審議会及び役員会で承認、決定された、令和5年度の当初予算についての報告である。

予算編成方針について、予算規模は約78億2307万円、前年度と比較し約4億4362万円の減額。令和5年度の予算規模は、令和2年度とほぼ同規模となっている。令和3年、4年はコロナ関係により予算規模が膨らんだが、元に戻った形となっている。

科研費の直接経費は予算規模に含まれていないが、全体額についてはグラフで示したとおり。続いて収入予算については、概ね従前どおりの構成となっている。

次に支出予算についても、概ね従前どおりの構成となっている。この内、一般管理費は円安、資材不足の影響による修繕費の増額分を計上したが、委託業務の見直し等により総額で約3400万円の減となっている。なお光熱水費については、令和3年度から約3900万円の増となっているが、令和4年度からは約5600万円の減となっている。

最後に事務局からのお願いとして、令和4年度の光熱費は令和3年度と比較し1億6400万円の増、約1.6倍となっており、今年度も高止まりが見込まれる。さらに、資材価格の高騰や人件費の大幅な増加が見込まれ、令和4年度以上に財政状況は厳しいことから、引き続き光熱費の節約や予算執行の適切な管理に御協力いただきたい。

(10) 公的研究費等不正防止計画(令和4年度取組実績及び令和5年度取組計画)について

（説明者：岸本総務部長）

公的研究費等不正防止計画について、先月3月16日に開催された「公的研究費等適正管理推進委員会」において承認されたので、その概要について報告する。

本計画の目的は記載のとおり。

令和4年度取組実績において、eLCoRE又はeAPRINによるコンプライアンス教育を行い、受講率100%を達成した。その他科研費公募説明会における説明や意見交換等の実施、各確認書の徴取を行った。その他は記載のとおり。

令和5年度取組計画について、研究費不正に対する理解度及び意識の調査は、効率的なリスク評価のため、新規に取り組むこととした。eラーニングによるコンプライアンス教育については、現在よりも実効性のある倫理、コンプライアンス教育とするため、eLCoREと比べてテキストや確認テストの内容が充実し、学部ごとにコース設定が可能である、eAPRINに移行していくということとした。その他の計画項目は記載のとおり。

最後に、不正防止体制の強化に関する事項について、令和3年2月に改正された文科省のガイドラインに基づき、引き続き「ガバナンスの強化」、「意識改革」、「不正防止システムの強化」の3項目を柱とする不正防止体制の整備を推進していく。

<意見>

- ・eラーニングの変更ということで、eLCoREからeAPRINに変更するという話だが、今年は全員が受講するということか。（構成員）
- ・基本的にそのように考えている。（説明者）
- ・受講した場合の有効期限があるか、もしくは毎年受けるものか。（構成員）
- ・現在検討中のため、決定次第御説明させていただきたい。（説明者）

・公的研究費等不正防止計画には最高管理責任者が置かれており、それは学長となっている。私の立場からも引き続き皆さんの御協力をお願いしたいと思い、この場を借り、本学ではこの研究費不正を絶対に発生させないという決意を表明する。決意表明については、各研究者の方々にお伝えいただくようお願いする。（議長）

(11) 令和4年度 CSIRT 活動報告等について（説明者：岸本総務部長）

令和4年度のCSIRT活動報告等について、CSIRTの本学における組織は記載のとおり。

令和4年度のCSIRT活動内容としては、情報セキュリティインシデントとして、記載の1件について報告を受け対応した。本案件については、文部科学省に報告済み。内容は記載のとおり。本件発生直後には、全教職員に向けて注意喚起を行った。その後の9月には情報セキュリティ研修会において、基本的な勉強会を行った。

令和5年度情報セキュリティ管理責任者等については、本年度の情報セキュリティ管理責任者及び情報セキュリティ管理者を別途照会させていただきたい。また、年度途中で管理者等が変更になった場合は、情報センターに連絡をお願いする。

(12) 令和5年度 静岡県立大学大規模修繕工事予定について（説明者：岸本総務部長）

静岡県立大学では老朽化した建物・建築設備について、長期間安定した施設運営を目指し、計画的に大規模な修繕工事を実施している。

令和5年度は草薙キャンパスで4件の大規模修繕工事を予定しており、内容は記載のとおり。いずれの工事も関係部署と事前に調整を行い施工するので、御協力をお願いする。

(13) 草薙キャンパスにおける全学停電の実施について（説明者：岸本総務部長）

草薙キャンパスにおいて、電気事業法に基づく自家用電気工作物点検のために全学停電を行う。実施日程、停電の内容は記載のとおり。

停電の対応としては、仮設電源やドライアイスを用意し対応する予定となっている。それらに必要な調査を11月頃実施するので、御協力をお願いする。

情報系については、停電の前日からサーバー類、学内ネットワーク等のシステムの停止処置を行う。小鹿キャンパスのインターネット回線も合わせて停止になるので、御注意いただきたい。

<意見>

- ・どの程度の期間、規模で停電するのか、教えていただきたい。（構成員）
- ・現段階では明確になっていないので、詳細については施設室から御案内させていただきたいと思う。（説明者）
- ・具体的に分かり次第、早く周知するようお願いする。なお、本報告は年間の教育研究計画の際に組み込んでおいていただくことが趣旨のため、よろしく願います。（議長）

(14) 令和5年度 自家用電気工作物点検実施に伴う全学システム停止

（説明者：湯瀬情報センター長）

全学停電に伴い、学内の学務情報システム、学内ネットワーク等を停止させる。

停止期間は記載のとおり。

特に注意いただきたい点として、小鹿キャンパスは停電しないが、草薙キャンパスだけではなく、全学的にシステムネットワークは止まるので、グローバル地域センター及び静岡県立総合病院のサテライトなど、学内のネットワークが通じている施設等の全てに影響が出るので、御留意いただきたい。

(15) 令和4年度 短期大学部健康管理区分判定結果（説明者：井上健康支援センター分所長）

年代を30代以下、40代、50代以上の3区分に分け、AからDまでの区分で健康管理区分を判定する。

区分判定方法及び内訳は記載のとおり。

例年と大きな変化はなく、通常勤務が可能な方が大半であり、その中でも定期的な経過観察で済む方が多くを占めている。

(16) 令和5年 第69回臨床検査技師国家試験合格者の状況について（説明者：石川薬学部長）

臨床検査技師国家試験の受験資格を得られるのは、文部科学大臣が指定した大学、専門学校が多い。それ以外には、厚生労働大臣が指定する科目を教育した大学などが受験する資格が得られるという仕組みがある。全国薬学部においては8校あるが、本学薬学部も同システムを使い、その内の1校となっている。

受験者は少ないが、年度ごとの合格者数、合格率は表に記載のとおり。

受験資格は得られているため、既卒者でも受験している者はいるが、なかなか合格しないのが現状である。薬学部は平成31年から一括入試を廃止し、薬科学科の薬剤師の国家試験の受験資格を得られない学生が一定数いるということで、薬科学科の学生の中には臨床検査技師の資格を取りたいという希望を持っている学生も多いので、今後は受験者数が増えてくるのではないかと考えている。

<その他>

中期年度計画推進委員会から、令和4年度の実績報告を行う。また、第三期中期計画の達成度の中間報告を6月末までに県に提出するため、中期年度計画推進委員の委員とその作業部会の委員が大幅に変わったこともあり、ここで周知する。

今週中に作業部会の委員の教員あるいは職員宛てに、中期年度計画推進委員会の事務局である経営財務室から確認作業についての依頼をメールで送付する。事務局で整理した内容を御確認いただき、修正した方がよい点、お気づきの点を報告いただきたい。

これまでの経緯や不明点については、前任にお問い合わせをいただき、御確認いただきたい。

なお、今年度から作業部会長が変わったので、この場で報告する。

作業部会に関しては、5月にメール会議、推進委員会は6月の初めに行う。県への提出は6月末となっているが、提出前に教育研究審議会、経営審議会、役員会に諮り、認めていただく必要があるため、作業を滞りなく進めていただけるようお願いする。 （今井理事兼副学長）

担当：経営財務室 市野 雄基